

2022年(令和4年)6月1日(水曜日)

トレンド

語り

不安定な社会情勢を受け、将来の不安を抱く人は多い。セコムの「日本人の不安に関する意識調査」(2021年10月実施)によると「最近不安を感じている」は全体の7割以上を占める。不安要素の1位は「老後の生活や年金」だ。

中村 泰子

か、「よりよく死ぬために、よりよく生きる」を主題にした漫画が話題だ。文化庁メディア芸術祭マンガ部門優秀賞を受賞した「ひとりでしにたい」(講談社・カレイ・沢薫著)は、35歳の独身女性が伯母の孤独死をきっかけに「終活」に取り組む話だ。この漫画では終活を残された家族のためには

終活は明るく前向きに

不安見極め、今楽しむ

新製品



あなたの大切な人に
感謝のメッセージを残しましょう

アプリ「Arigato」のトップ画面

なく、「独身が今後の人生を不安なく楽しく生きるため」として描いている。昨年母親を看取り、「エーションジョイ終活」(幻冬舎)を出版した菊田あや子氏(終活協議会理事)も、終活は「人生を謳歌するために必要な明るく前向きなもの」と説く。お金や医療、葬儀など不安事を解消する

ことで、人生を楽しむ活力が生まれる。終活は「死に支度でなく生き支度」と。自分の死後に「ありがとう」のメッセージを送る無料アプリも登場した。エイを生きているときに気づけ、自分や大切な人に「ありがとう」のメッセージを送る。高田幸治社長が、親友の死を契機に開発した「Arigato」だ。お配事の本質を見極め、満足できる「今の生活」を送る。高田社長は、「突然の別れがあっても何か一言残っていれば、受け取った人も心の整理がつく。メッセージを残す方も感謝する人が大勢いること」を語り、命を絶つ人も減るのではと高田社長は、他者との関係や自分の心配事の本質を見極め、満足できる「今の生活」を送る。高田社長は、「突然の別れがあっても何か一言残っていれば、受け取った人も心の整理がつく。メッセージを残す方も感謝する人が大勢いること」を語り、命を絶つ人も減るのではと高田社長は、他者との関係や自分の心配事の本質を見極め、満足できる「今の生活」を送る。高田社長は、「突然の別れがあっても何か一言残っていれば、受け取った人も心の整理がつく。メッセージを残す方も感謝する人が大勢いること」を語り、命を絶つ人も減るのではと高田社長は、他者との関係や自分の心配事の本質を見極め、満足できる「今の生活」を送る。

「終活」というより「充活」と言った方がよいだろう。(ブームプランニング代表)